

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成19年度				管理	3-8-2-1
事務事業名 社会復帰相談事業				部等名	生活福祉部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	保健福祉課
	一般	01-030102003	細々目名	係等名	健康づくり係
政策体系	基本目標	3	共に支えあうやさしいまちづくり		
	施策	8	障がい者保健・医療・福祉対策の充実		
	基本事業名	2	自立と社会参加の支援(精神保健福祉)		

事業概要 実施内容	精神障がい者に集団での日常生活の指導及び訓練の場を提供する。 精神障がい者社会復帰相談指導事業				
根拠法令等	精神保健及び精神保健福祉に関する法律	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定(年度～年度)			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	25,838 円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	64,000 円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	2000 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	91,838 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		在宅の精神障がい者	
手段(事業の具体的な内容、手順等)	精神障がい者社会復帰相談指導事業の実施(作業療法、レクリエーション、医師講話、心理講話等)	活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標	指標(1) 名称 精神障がい者社会復帰相談指導事業実施回数
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)	精神障がい者の社会参加、社会復帰	成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標	指標(1) 名称 精神障がい者社会復帰相談指導事業実施人数
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか			
在宅の精神障がい者が、地域との交流を持ちながら、自ら生活する能力を獲得し、社会参加を促進する。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	回数			23	22	
	活動指標(2)						
	成果指標(1)	人数			128	130	
	成果指標(2)						
投入量	事業費	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			92	92
	事業費計(A)	千円			92	92	
	人件費	職員数	人			0.1	0.1
		人件費平均額(年)	千円			8,373	8,373
人件費計(B)		千円			837	837	
総事業費(A+B)	千円			929	929		

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?
精神障がい者の在宅生活支援を家族のみで支えることが難しい状況や(家族の高齢化、単身障害者の増加)社会資源の不足から、社会的長期入院傾向に変化が見られず、自立した生活や社会参加が促進されない状況にある。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?
在宅生活を支援する地域での受け皿(グループホーム、日中の活動の場、就労の場)づくりが必要。

2. 事務事業の評価 (Check)

評価結果	施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由】 <input type="checkbox"/> 無【理由、改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由】 <input type="checkbox"/> 無【理由、改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由】 <input type="checkbox"/> 無【理由、改革改善案へ】
	対象者の社会参加、社会復帰を促進させると共に、疾患の再発を予防している。	市が在宅の精神障がい者の身近な相談窓口であるため、対象者が事業参加につながりやすい。また、交通手段を持たない対象者が多いため。	在宅の精神障がい者が対象であり、社会参加・社会復帰に貢献している。
	【有効性評価】		
	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由、改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有【理由】 <input type="checkbox"/> 無【理由、改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有【理由、改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無【理由】
		在宅の精神障がい者の活動の場がなくなり、社会性の低下、疾病の再発が懸念される。	類似事業なし。
【効率性評価】		【公平性評価】	
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有【理由、改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有【理由、改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有【理由、改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無【理由】	
対象者の知識の普及やコミュニケーション技術の向上のために必要な、医師と臨床心理士の報酬費が主であるため。	ボランティアの活用等、事業の効率を図り実施しているため。	公平に負担している。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 参加実人数が少ないため、対象者への周知が必要。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要 医療機関と連携し、退院時に対象者に事業周知をしてもらう。精神障がい者保健福祉手帳申請・交付時に周知する。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策 医療機関との連携。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 評価結果の根拠と理由																					
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	(4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						